

第 2 回都市計画マスタープラン等策定委員会への質問意見及び回答

質問意見	回答
1. <前回プランの検証> 前回の「平成 16 年版マスタープラン」の検討は住民意向把握で行いました、との回答でした。その後、考えました。「平成 16 年版マスタープラン」を検討し、吟味・評価することと、住民意向把握とは同等ではないと思います。時間と費用をかけて作成した「平成 16 年版マスタープラン」は、重要な出発点だと思います。もっと時間をかけて、検討すべきと思いますが、いかがお考えですか。	現行プランの評価については、都市計画マスタープランがまちづくりの基本的な方針を示す計画で具体的な数値目標を定めていないため、定量的に評価する方法として、現行プランの「まちづくりの方針」各項目について、住民意向把握による満足度・重要度をお聞きし、施策の各進捗状況を確認（吟味・評価）したところです。 ご意見をいただきました「吟味・評価することと住民意向把握とは同等ではないので、もっと時間をかけて検討すべき」については、現在策定委員会と並行して、庁内検討委員会（副町長、建設水道課長、関係係長による庁内検討組織）を開催しています。例えば関係する庁内各課で内部評価を行うことや、各種統計資料を使って定量評価を追加するなど、検討していきます。 今後、住民説明会やパブリックコメントなど、多くの住民の皆様からご意見をいただく機会を設け、計画に反映していく予定です。
2. <子どもが町へ戻ってきている割合> 飯島町で出生した子どもたちは、大人になった時、どの位、飯島町に戻ってきているのでしょうか？例えば、2010 年に生まれた子どものうち、何人が 2025 年に飯島町で暮らしているのでしょうか？経年的にデータがあれば、知りたいです。	1995 年度から 2009 年度まで 15 年間の出生数を基に、15 歳時点、20 歳時点、25 歳時点の人数を経年的に確認しました。資料 1 - 例えば、1995 年度に生まれた子ども 96 人は、15 歳時点で 115 人に増加、20 歳時点では 94 人に減少、25 歳時点ではさらに 71 人に減少と町内で暮らす人数が推移しています。 - 出生後、数年間は転入超過が続き、15 歳時点では出生時点より人数が増える傾向があることが分かります。（対出生比 117%） 20 歳時点では、進学や就職等により町を離れる方が増え始め（対出生比 93%）、25 歳時点ではさらに離れる方が増加するこ

	とが分かります（対出生比 76%）。 ・ ただし、ご質問の「どの位、飯島町に戻ってきているか」は個人毎に氏名まで確認しないと実態を把握することができませんので、代表的に出生年度が 1999 年度、2004 年度、2009 年度の子どもを抽出して、それぞれ満 25 歳、満 20 歳、満 15 歳時点で何人が飯島町で暮らしているかを調査しました。（2025 年 4 月 1 日現在） ・ 1999 年度の出生 79 人のうち、25 歳時点で 20 人が町で暮らしています。 ・ 2004 年度の出生 48 人のうち、20 歳時点で 27 人が町で暮らしています。 ・ 2009 年度の出生 54 人のうち、15 歳時点で 51 人が町で暮らしています。
3. <買い物難民> 飯島駅前の A コープが閉店になりました。買い物難民が、発生すると思います。マスタープランとの関連で、過去・現在・将来の、買い物難民の数を知りたいです。七久保、飯島、と地域でも違うでしょう。	現在、飯島町に「買い物難民の数」を調査したデータがありません。 参考になるデータとして、農林水産省農林水産政策研究所が、高齢者を中心に食料品の購入に不便や苦勞を感じる「食料品アクセス問題」が顕在化する中で、どこでどの程度、発生しているかを把握するため、国勢調査や商業統計を用いて「食料品アクセスマップ」を作成・公表しています。資料 2 ・ 自宅から生鮮食料品販売店舗までの直線距離が 500m 以上かつ自動車利用が困難な 65 歳以上の高齢者を「食料品アクセス困難人口」と定義し、 ・ 当町の「食料品アクセス困難人口」は、全町で 712 人（全 65 歳以上の 21.4%）と推計されています。 ・ このうち、75 歳以上は 504 人（全 75 歳以上の 27.1%）であり、食料品アクセス困難人口のうち、75 歳以上の占める割合は 70%でした。 過去・現在・将来の別、地域（飯島・七久保）の別ではデータがないため、ご容赦いただきたいと思います。

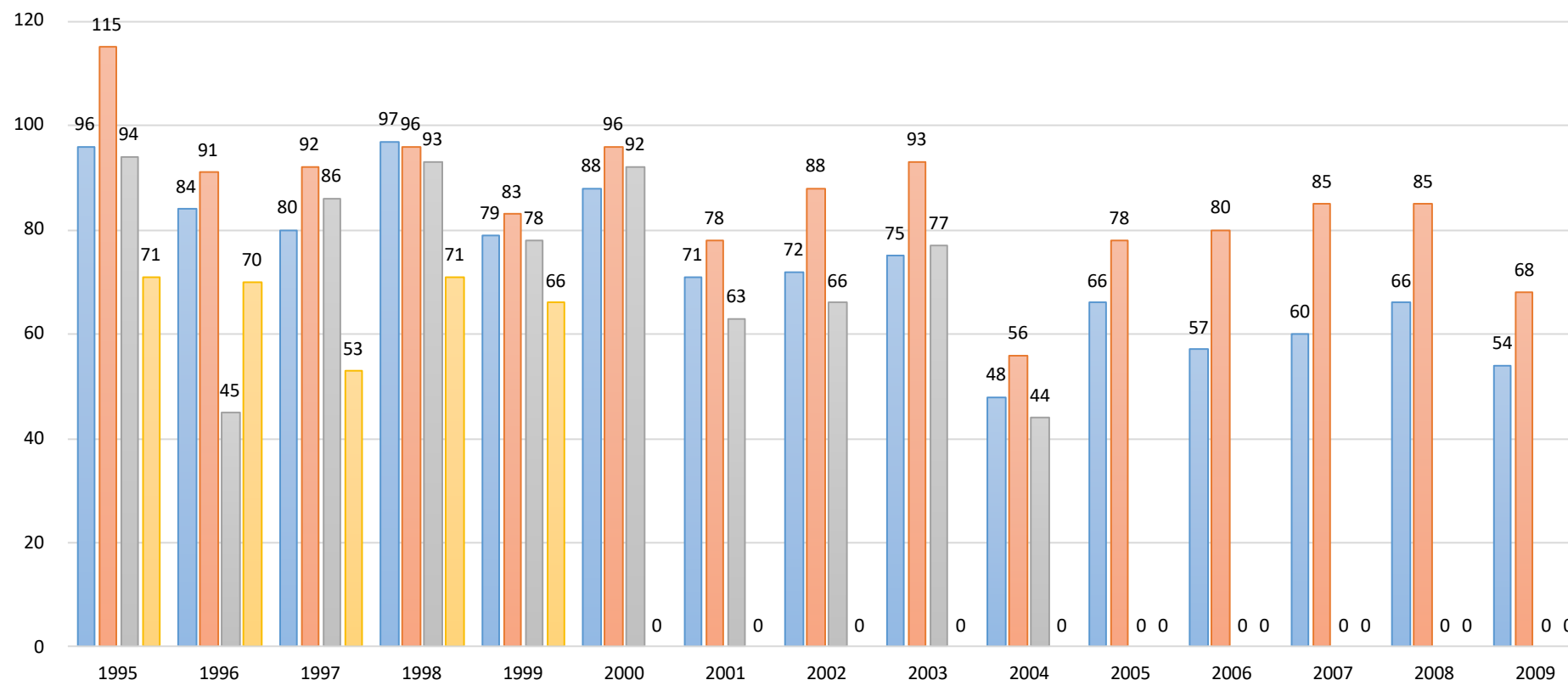
4. ＜産業別就業人口・生産高の推移＞

一次産業、二次産業など産業別就業人口、生産高の推移、予測がわかれば、教えてください。

今回の計画策定業務に先立ちまして、令和5年度に飯島町の現況調査を行いました。この結果について、町ホームページで公表させていただきます。**町HP参照**

なお、将来の予測については、資料がありませんのでご容赦いただきたいと思います。

資料1 子どもの年代時点別の人数の推移（1995年度～2009年度の15年間）



■ 出生数 ■ 15歳時点数 ■ 20歳時点数 ■ 25歳時点数

出生年度	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	計	対出生比
出生数	96	84	80	97	79	88	71	72	75	48	66	57	60	66	54	1,093	
15歳時点数	115	91	92	96	83	96	78	88	93	56	78	80	85	85	68	1,284	117%
20歳時点数	94	45	86	93	78	92	63	66	77	44	—	—	—	—	—	738	93%
25歳時点数	71	70	53	71	66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	331	76%

個人毎に確認した結果 ⇒

20

27

51

※資料：出生数（行政報告書）、15歳・20歳・25歳時点数（住民税務課住民係資料）

資料2 食料品アクセス困難人口の動向（市町村別）

市区町村名	2020年				(参考) ※2020年とは定義・データが異なるため連続しない					
	人口	割合	75歳以上		2005年		2010年		2015年	
			人口	割合	人口	75歳以上	人口	75歳以上	人口	75歳以上
飯田市	6,586	20.6	4,612	25.8	24.1	29.8	23.3	31.8	21.7	32.9
伊那市	4,087	19.8	2,844	25.0	27.0	33.7	25.5	35.6	21.9	34.5
駒ヶ根市	2,013	20.3	1,390	25.3	24.9	31.3	22.9	32.5	21.8	33.8
辰野町	1,342	19.2	949	24.3	26.4	34.2	26.2	38.4	20.9	35.1
箕輪町	1,430	20.0	966	25.8	27.2	34.2	25.3	36.1	22.5	36.5
飯島町	712	21.4	504	27.1	29.2	36.5	26.0	37.1	24.1	37.4
南箕輪村	724	19.6	484	25.7	20.5	28.1	23.4	36.6	17.9	33.2
中川村	293	17.5	207	23.0	33.5	43.2	29.5	43.4	25.3	42.7
宮田村	398	15.7	282	20.0	29.1	37.9	26.6	39.1	18.8	31.9
松川町	643	14.9	458	19.1	26.9	35.2	25.0	36.8	21.3	34.1
高森町	788	18.9	565	24.2	29.3	36.4	27.7	39.4	25.2	39.9
喬木村	362	17.0	263	22.0	35.9	43.9	26.6	38.0	27.1	42.7
豊丘村	353	16.7	251	22.0	33.2	42.4	29.2	42.6	26.4	42.8

食料品アクセスマップ（2020年市町村別）

